



# なきごえ



1990

11

大 阪 市  
天王寺動物園協会



西谷清治



私のご主人様、「動物と私」というテーマの原稿の前にウトウトし始めている。以前は「疲れた」とか「シンドイ」とかいう言葉、聞いたこともなかったが、40歳を過ぎたこの数年、だいぶお疲れのようだ。やはりテレビの仕事は、体力がいるらしい。

私のご主人様は、テレビのディレクターである。主に自然や動物のテレビ番組を制作している。そのためか、年中、アフリカ、アマゾン、アジア、そして国内と出張が多い。

ご主人様がテレビの仕事をするようになったのは、もう20年も昔のことだ。最初のアフリカ旅行で出会ったライオン・キリン・ゾウがきっかけらしい。でっかい夕陽（アフリカの太陽は本当に大きいらしい）の中に浮かぶ野生動物のシルエット。一生に一度、出会うか出会わないかの美しい風景が、若く感受性に満ちた心を震わし捕えた。

それからというもの、ご主人様は自然や動物の映像への世界へとめりこんでいった。そして「一度、アフリカの水を飲んだものは再びアフリカを訪れる」ということわざのとおり、何回も何回もアフリカを訪ねることになった。当時のアフリカは自然そのものの、驚異に満ちていたらしい。その度ごとにご主人様は私に、気球サファリのこと、ヌーの大移動のこと、クロサイの救出作戦のことなど喜々として語ってくれた。

そりゃー、楽しそうだった。私なんか、この家と庭先以外に出たことないから、よその世界のことなんかあまり知らないけれど、地球には、私以外の動物が様々なんだということを教えてくれた。

アマゾンの巨大昆虫や恐るべき軍隊アリ。東南アジアの孤児院に暮らすオラン・ウータン。動物保護基金のいけにえに祭りあげられた中国のパンダ。地球にはすばらしい仲間がいて美しい自然があった。

それからというもの、ご主人様は自然や動物の映像への世界へとめりこんでいった。そして「一度、アフリカの水を飲んだものは再びアフリカを訪れる」ということわざのとおり、何回も何回もアフリカを訪ねることになった。当時のアフリカは自然そのものの、驚異に満ちていたらしい。その度ごとにご主人様は私に、気球サファリのこと、ヌーの大移動のこと、クロサイの救出作戦のことなど喜々として語ってくれた。

そりゃー、楽しそうだった。私なんか、この家と庭先以外に出たことないから、よその世界のことなんかあまり知らないけれど、地球には、私以外の動物が様々なんだということを教えてくれた。

アマゾンの巨大昆虫や恐るべき軍隊アリ。東南アジアの孤児院に暮らすオラン・ウータン。動物保護基金のいけにえに祭りあげられた中国のパンダ。地球にはすばらしい仲間がいて美しい自然があった。

なきごえ11月号もくじ

動物と私 ..... 2
“元気に成長ノペンギンの赤ちゃん” ..... 3
バードケージ(鳥の楽園)における水禽の繁殖状況について ..... 4・5
なきごえに寄せる ..... 6・7
動物園グラフ・日記 ..... 8・9
ケンちゃんの好きやねん動物園 ..... 10
動物園ニュース ..... 11

まだまだ知られていない動物や生物の興味つきない行動や生態があって、そして彼らを取りまく環境は豊かな自然に満ちあふれていて。

蒸し暑いジャングル、凍てつくツンドラ……、普通の人だったらとても嫌がるような所も、ご主人様は苦もなく出掛けていった。秘境とよばれる所ほど、美しい手つかずの自然が残っているからだそう。そしてそんな大自然から戻ったご主人様の瞳は輝き、いつもよりもさらに饒舌になった。まるで宝物を探し当てた子供のようにであった。

しかし、最近のご主人様は違う。取材から帰ってもあまり多くの事を語ってくれない。寡黙でさえある。何か悩んでいるようでもある。

テレビの動物番組は、世界の珍しい動物や自然を紹介しつづけてきた。しかし今、それだけで良いのだろうか。現場にたったご主人様は「この動物たちにまた会うことができるだろうか。この動物たちは、今後、悪化する環境の中で生き残っていけるだろうか？」そんな思いで一杯になってしまうというのだ。動物の暮らす環境・自然が危機に瀕していることをどのように伝えればよいのだろうか。地球そのものが危ういというのに、おもしろおかしい視聴率優先の番組作りでもないだろう、と生真面目なご主人様は悩むのである。

地球環境悪化を自分自身のことにとらえられない人間、目先の利だけを追求する飽くなき人間。それが20世紀に生きる人間の姿である。「人間ってなんて愚かな生物なんだろう。」これが最近のご主人様の口癖である。

ご主人様は机の原稿を前にして、またまたウトウト・ブツブツ。夢の中で、又、なにやら新しいテレビ作品の企画書なるものを考えているのだろうか。今度はどこに出掛けるつもりなのだろうか。「変わりゆく地球を自分の目で確かめておきたい」のだそう。そんなに悩む程なら、もうやめればいいのに。しかし、懲りずにまた出掛けていく。きっと、ご主人様も“檻の中の懲りない面々”の一人なんだ。

そろそろご主人様の目が覚めそう。余計な事と叱られる前に、隣りのミケちゃんの所でも遊びに行こう。今の私は幸せだニャン。

(映像ディレクター)

表紙の写真説明

“シャムワニ”(Crocodylus siamensis)

ワシントン条約附属書Iに属する希少なワニです。ミャンマー、タイ、マレーシア、インドネシアの湖沼河川に棲み、魚類、小動物を捕食します。昨年、沖縄こどもの国動物園からいただいたものが2m近くにもなりました。

(撮影：中川哲男)



“元気に成長ノペンギンの赤ちゃん”
生後35日目に親から見離され、栄養不良となっていたところを取り上げられたフンボルトペンギンの赤ちゃんは、飼育担当者の手によってこんなに大きく成長しました。今ではほかの仲間と同居しています。
(撮影：森本委利)

# バードケージ(島の樂園)における水禽の繁殖状況について なきごえ26(11),1990

バードケージ(島の樂園)は、今年で4回目の繁殖をむかえることになりました。昨年より2ヶ月も早い12月下旬から産卵が始まり、8月上旬で産卵を終えました。今回はこの間の繁殖状況について報告します。

## ●飼育状況●

バードケージ舎には、シュバシコウをはじめクロトキ、アフリカヘラサギ、シュモクドリ、コサギなどのコウノトリ目、ウミネコ、ユリカモメ等のチドリ目、ハワイガン、カオジロガン、オオギアイサ、ウミアイサ、メジロガモ等のカモ目、タンチョウ、ホオジロカンムリヅルのツル目など63種約300羽を雑居飼育しています。

## ●産卵状況●

カモ目での産卵数は490卵以上、コウノトリ目、チドリ目、ペリカン目のカワウなどの産卵数を合わせれば600卵近く産卵したと思われます。

シュバシコウ、アオサギ、コサギの産卵数については巣台が高い所にあり、巣に近づくと驚いて飛び立ち、卵やヒナを落としたり、又は抱卵を中止する恐れがあるので確認はできませんでした。カモ目の不明卵が多いのは、私自身の経験が浅いため、色状、大きさ、型などで種類を同定することが難しいので不明卵としました。

アカハシリウキウガモは昨年103卵産卵していたのが、今年はわずか28卵でした。原因として昨年の秋、私共の作った巣箱で産卵したものの、入口が狭すぎたため、体半分が抜けられない状態で死亡した早と、今年8月、巨大卵のため産卵困難症となり卵が半分出たまま死亡した早とこの2羽が死んだのも産卵数減少の原因の一つだと思います。

2月中旬からカワウの営巣行動が見られ、2月24日には産卵をはじめ、4月下旬までくりかえし産卵がみられましたが食卵されたり、抱卵を中止したりしました。途中、数回検卵をしましたが全て無精卵でした。

## ●人工孵化状況●

### (集卵)

集卵はガン・カモの自然抱卵以外の卵を集めました。週に1回巣箱、巣穴、草むら等から集卵しましたが、4月に入り産卵数が増えてくると食卵されることがあるので毎日1回集卵しました。また掃除の合間でも巣箱等を覗いたりしました。

### (記録、貯卵)

集卵してきた卵は産卵記録簿に鳥類名、色状、重量、寸法を記載しました。寸法をとる時にはノギスで短径、長径を計り卵に番号を記入して冷暗室に貯卵しました。これは統一したふ化、育すうを考え、ふ卵機に入卵するまでである程度数を貯卵します。

### (入卵、検卵)

1週間分貯卵した卵を孵卵機へ入卵します。検卵は週1回、又は放冷時の間におこない無精卵、中止卵を取り除きました。孵化予定日の4日前になると気泡を上にもつれ発生台へ移しました。

転卵 自動転卵(1日24回、転卵)

温度 37.5℃

湿度 75%~80% (備付けの水盤だけでは湿度

が上がらないので水盤を増したり、換気孔の開閉で湿度を調節しました。)

放冷 1日1回約20分

霧吹 放冷後、孵卵機内に卵を戻す時や機内の湿度を調節する時に使用しました。

## (人工育雛)

発生台で孵化したヒナは約24時間孵卵機で卵黄の吸収、羽毛の乾燥を待ち、その後育雛箱へ移し餌付けをしました。

## (餌付け)

ハワイガン } 給餌器に細く切ったクローバー、青  
カナダガン } 菜、白菜、パン、中雛用配合飼料、  
ハクガン } カルシウムを給与

アカハシハジロ

オシドリ

アカアシコガモ

クビワコガモ

メジロガモ

アカハシリウ

キウガモ

カルガモ

ツクシガモ

アカツクシ ×

ネズミガシラアカツクシガモ

	日 齢	温度	熱源	収容場所	面 積
育雛初期	1日令 →7日令	35℃	100W	育雛箱	95cm × 65
育雛中期	8日令 →20日令	30℃	100W	育雛室	300cm × 180
育雛後期	21日令 →60日令	廃温		育成舎	300cm × 250

育成舎は育雛箱、育雛室に比べて面積も広く、砂地とプールがあり日光も当たる場所なので雛にとって良い環境なので場所があいていればなるべく早く育成舎へ移すようにしました。

約60日間人工育雛をしたヒナは個体識別の為、足環、翼帯、カラーリングを装着してバードケージに放鳥されます。又一部のヒナは、他園と動物交換等で出園します。

今年度の人工孵化、育雛の成績は孵化率55%、成育率54%と良くない成績になりましたので来年は今年を上まわる成績になるように努力していきたいと思えます。

## (繁殖状況)

今年も最初の繁殖はハワイガンから初まりました。ハワイガンが巣を探しはじめたころ、産卵しそうな場所に巣箱を設置しましたが、他の場所で産卵し抱卵しはじめたので、その周囲を金網で囲い、わら等の巣材を与えてやりました。早もそれほどばたつくことなく抱卵を続けました。ふ化後まだ外気の温度が低いので、育成舎の一室をビニールシートで覆い、温熱板、ヒーターなどで室内の温度を上げ、親子共移動しました。

ハクガンは、孵化予定の4日前に抱卵を放棄したので卵を孵卵機に入卵し人工孵化に切りかえまし

なきごえ26(11),1990

た。

シュバシコウは、5羽繁殖し、1羽も死ぬことなく5羽共成育しました。

巣立ちしたコサギのヒナにはケージの広さがつかめないのか激突死と思われるのが4例ありました。

ウミネコは1ペアが1羽繁殖、成育させました。

もう一方のペアも2羽繁殖させましたが、シュバシコウ、シュモクドリ或はイタチ、ネズミに捕殺されたのか2羽共行方不明になりました。

総繁殖数：17種149羽

総成育数：15種 85羽

(飼育課 久田 治信)

表-1 産卵状況一覽(バードケージ舎)

種 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	初卵～終卵
(カモ目)														
ハ ワ イ ガ ン	4											1	5	12/30~1/6
カ ナ ダ ガ ン			5	8									13	3/23~4/19
ハ ク ガ ン					3	2							5	5/28~6/4
マ ゼ ラ ン ガ ン				2									2	5/19
イ ン ド ガ ン				4									4	4/24~4/26
ア カ ハ シ ハ ジ ロ			12	52	32	8							104	3/12~6/16
オ シ ド リ				25	103	64							192	4/15~6/28
ア カ ア シ コ ガ モ					1	4	4						9	5/6~7/17
カ ル ガ モ					2	4							6	5/26~6/25
ク ビ ワ コ ガ モ					2	4		2					8	5/12~8/8
メ ジ ロ ガ モ					1	10							11	5/19~6/2
ア カ ハ シ リ ウ キ ウ ガ モ						5	21	2					28	6/25~8/2
ツ ク シ ガ モ				7	6	7							20	4/15~6/21
ア カ ツ ク シ × ネズミガシラアカツクシガモ				5									5	5/28~6/4
ガン・カモ類不明卵			13	17	37	21	2						90	
(コウノトリ目)														
シュバシコウ														3月下旬~4月上旬
アオサギ														3月下旬~4月上旬
コサギ														3月上旬~8月下旬
(チドリ目)														
ウミネコ			1	4									5	3/31~4/15
(ペリカン目)														
カワウ														2/24~4月下旬

表-2 人工孵化状況一覽(バードケージ舎)

種 名	入卵数	有精卵数	無精卵数	孵化数	成育数	有精率(%)	孵化率(%)	成育率(%)
アカハシハジロ	104	62	42	40	16	60	65	40
オシドリ	192	87	105	39	23	45	45	59
アカアシコガモ	9	3	6	2	0	33	67	0
クビワコガモ	8	2	8	1	0	25	50	0
メジロガモ	11	6	5	5	3	55	83	60
アカハシリウキウガモ	28	7	21	2	1	25	29	50
カルガモ	6	5	1	5	4	83	100	80
ツクシガモ	20	13	7	5	3	65	39	60
アカツクシ × ネズミ ガシラアカツクシガモ	5	5	0	5	5	100	100	100
カナダガン	6	3	3	1	1	50	33	100
ハクガン	5	3	2	3	2	60	100	67
計	394	196	200	108	58	50%	55%	54%

表-3 繁殖動物一覽(バードケージ舎)

種 名	繁殖羽数	完全成育数	繁殖区分	孵化日数	摘 要
(カモ目)					
ハ ワ イ ガ ン	4	4	(自然)	31日	
ア カ ハ シ ハ ジ ロ	40	16	(人工)	25~28日	13羽淘汰
オ シ ド リ	39	23	(人工)	28~31日	2羽淘汰
ア カ ア シ コ ガ モ	2	0	(人工)	28~31日	
ク ビ ワ コ ガ モ	1	0	(人工)	24日	
メ ジ ロ ガ モ	5	3	(人工)	25日	
ア カ ハ シ リ ウ キ ウ ガ モ	2	1	(人工)	28日	
カ ル ガ モ	5	4	(人工)	24~27日	
ツ ク シ ガ モ	5	3	(人工)	28日	1羽淘汰
ア カ ツ ク シ × ネズミ ガシラアカツクシガモ	5	5	(人工)	30日	
カ ナ ダ ガ ン	6	1	(人工)	28日	
ハ ク ガ ン	3	2	(自然) ~(人工)	25日	孵化4日前に抱卵を放棄したため孵卵機へ入卵する
(コウノトリ目)					
シュバシコウ	5	5	(自然)		
ア オ サ ギ	3	2	(自然)		
コ サ ギ	15	10	(自然)		1羽巣から落下死亡 4羽激突死
ウ ミ ネ コ	3	1	(自然)	24日	2羽行方不明

繁殖数 17種 149羽 完全成育数 15種 85羽



菊屋 奈良義

お母さんたちへ

「なきごえ」という誌名を聞いた時、反射的に私の頭をかすめたものがあった。

ブナの木の啼き声である。悲しい響きをもっていて、ズンと胸を打つ声であった。同行3人の足を一瞬に縛りつけ、1時間も2時間も背梁の吹きさらしに、たたくませてしまう力を持っていた声である。

九州の中央部、大分・宮崎・熊本の三県境には、古生層の褶曲が形造った「祖母山、傾山・五葉山・大崩山」など、「祖母・傾国定公園」に指定された急峻な岩山がある。

平成2年春、「祖母・傾森林生態系保護地域」が、熊本営林局長によって設定され、全国12ヶ所のうちの一つとしてクローズアップした山系である。

この保護地域設定は、また別の意味で面白い見方が出来る林野庁の動きでもある。

その一つは、「伐りすぎた歴史への贖罪」

その一つは、「他の地域伐採の免罪符」

という、うがった見方であるが、まず従来の林野庁の在り方からすると、ここは先ず素直に「一歩前進」と評価してもいいと、私は思っている。

ま、それはそれで置いて、実は、昭和63年の11月24日に、この祖母・傾山系の一つ、笠松山でツキノワグマが撃たれたことがある。

40年近く、ツキノワグマの生息確認が絶えていた山系だけに、騒動はひときわ波紋ををひろげたから、関西の人たちも、もしかすると記憶している方がいるかも知れない。

私たち、大分野生生物研究室では、自主的に調査班を編成し、その第3回目の調査行に際してハチミツトラップを設置したことがある。春先きの霜柱が残った山系には、固い新芽のふくらみが、ひときわ目立っていた。

3名で、傾山の南にある「新百姓山」の尾根を伝っていた時、イキナリ、その声は聞こえた。「グッグッグッ、グッギィー」

身内に走る衝撃が、私たちを走りぬけた。

勿論、クマの鳴き声ではない。

然し、響きが重く凶太い。

山容を圧して、溪谷にまで低く地を這うような響きがある。

顔を見合わせた3人は、耳をそばだてながら声の主を目線で探した。

4分程の長いしじまを破って、再びグギッと音をうけとめた3人の目は、一斉に正面のブナに釘付けされた。

もう、どこにも視線を動かせない3人は、二抱えを超えたブナの老木が、その株元に走った亀裂によって、訴える悲鳴を視た。

走りよって、私はたまらずブナに抱きついた。掌を亀裂にあてて、その悲しいトレモロを掬いとった。

振動は、私の全身を走りぬけ、私の目を見た2人に、モロに伝わった。

あおざめた顔をした2人は、葬列の足取りで私に近付いた。

仰ぎ見た太枝が、わずかに、こきざみに揺れて、吹きあげる烈風に耐えていた。

南西、急峻な斜面は、既に伐採され、樹一本残さない裸地になっている。僅かに復元が始まった乾燥地型草原が、その昔、どれほど優れた自然林がここに厳存したかを、淋しげに物語っている。

ブナは巨大な森で育った。足元の斜面に、ヒメシヤラやアケボノツツジを従えて、豊かに育った。

はるかにモミヤツガの黒々とした梢を見はるかしながら、優しく育った。

太枝を思いっきり伸ばして、精一杯に太陽をうけて……。

谷からの吹き上げは、麓の森をぬけて、そのやわらかな風の心を、ブナに運んだ。

でも、今、風がぐりぬけるべき森は無い。

風がやわらぐ森は姿を消した。

風は伐りとられた森の跡地で、上昇の勢いを得、猛り狂って尾根筋をおそう。

ブナの太枝を揺すり、「怒れ!」「怒れ」とブナを叱咤するだけである。

やさしいブナの太枝は、風にねじ曲げられて身をかわした。幹にねじれが伝えられた。

度重なるねじれに耐えかねて、ブナは、その根株に、或る日、細くて悲しい亀裂を雄叫びと共に造ったのだらう。

風は今日も猛り、太枝は今日も身震るいと共に幹をゆする。裂目は重々しく唸る。

低く、力強くしむその声は、私たちに何を訴えようとしているのか。私には、胸が苦しくなる程の森の悲鳴に聞こえた。

「森の悲鳴が聞こえますか?」

大分で、昨年2月開催した原生林フォーラムのテーマに、私たちが選んだフレーズは、こうしてきめられた。

今も、九州の山深い奥地でおめき続けるブナの叫びを、私は少しでも多くの人びとに聞いてもらいたい。

ことに、伐って植えることを正しいと信じて精出す人びとに……。

子供たちへ

きみたちは、タヌキの声を聞いたことがあるかい? 天王寺の動物園にもタヌキはいるだろ?

都会でくらしているタヌキだから、「もうかりまっか?」とかいうんだらうかねえ。

九州に住んでいるボクは、おサルさんで知れた高崎山の近くにいる。子供のころから遊びに行っていたお宮さんの森で、ほとんど毎ばん、タヌキやイノシシをかかさつしている。

しらがのおじいさんなんだけど、イノシシたちは、ボクのことを横目で見て、「フン、また来てるな!」って顔をしている。

もう15年くらい続けているから、ボクがイノシシやタヌキにとって、イヤなじいじやないって思ってくれているみたいだ。

タヌキがねえ、どんな声でおしゃべりするかを、おじいさんも知らなかったんだ。

かさつをはじめて間もないころ、夜の森にひびく、へんな声を聞いて、イノシシの赤ちゃんが、だ

れかにいじめられているのか?とおもったんだ。

でもねえ、このへんな声も聞きなれると、なにか、ホラ、きみたちだって、友だちにはなしかける時、「オイ」とか「ネエ」とか、いうだろ?あんなふうな感じがするんだ。

「ン、ギャー」「ン、ギャー」

はじめのころは、ひくい声だ。しだいに大きくなる。ときどき、別の方から、「ンギャー」って、ひくく答える声もする。

タヌキの声だって、しっかりわかったのは、「アマエ」って呼んでいる2才のオスのタヌキが、おじいさんの前で、これをやってくれたからだ。

ひくい声を、しだいに大きい声にしていくのは、どうも、その声の大ききで、友だちとのきよりを考えているんじゃないか? おじいさんはそう思っている。

「アマエ」のほかに、「ツン」や「チビ」や「ドン」や「ヤセ」などがいる。「カアチャン」も「トウチャン」もいる。

「ジンロク」っていうタヌキは、わりかしおじいさんと仲良し。でもねえ、3メートルぐらいまでしか近づいてくれない。

「ジンロク」が赤ン坊のとき、おじいさんのことを「へんな奴?」って思ったんだらうかねえ、トコトコトコって近付いたことがあった。おじいさんが、「アレ、どうしよう」と思った時、「カアチャン」が叱った。

「グ、ギャーッ」って、ひと声。

あっという間に、ジンロクもチビも、みんな夜のやみの中にすがたをけした。おかしかったのはトウチャンまで居なくなったことだ。

タヌキたちは、いろんな声をつかいわけていて、けっこう、おしゃべりしているみたいだよ。夜の森でないと、この声は聞かせてもらえないから、きみたちには「フーン、そんなもんなの?」ってとこかなあ。

ついでにねえ、キツネの赤ちゃんの声も、しょうかいしようか?

キツネは「コン」って鳴くことになっているだろ?

キツネの赤ちゃんも、だからコンと鳴くみたいにしてしまうよねえ。

ほんとはねえ、キツネのお母さんの声は、「ケーン」とか「クエーン」って聞こえる声がいちばん多いんだ。

とくに6月や7月、赤ン坊をつれていて時のお母さんは、おじいさんを叱る時には、はげしい力をこめて「クーン」とやるんだ。

「しまった。叱られた!」って、首をすくめるほど、しっかりとした声だ。

ふしぎなことに、この声をテープレコーダーに入れると、「ケーン」と聞こえてしまう。

まあ、どちらにしても、キツネはコン!にしている声にはちがいない。

ところがねえ。キツネの赤ン坊、といっても、もうすっかり1人歩きして、お母さんのまわりをはねまわって遊ぶキツネなんだけど、お母さんにオネダリする時に、きみょうな声を出すんだ。

「ビャー オウー オウー」

2ひきも3ひきもの赤ちゃんが、たてつづけにこれをやるもんだから、森の中は、いっしゅんシーンとなる。

イノシシだって、肩のにくをピクッとふるわせて、静かにする。タヌキたちは、耳にパッと力を入れて、首をのばして、この声に聞き入る。

このしゅんかん、落葉1まいが落ちてても、パラリという音が聞こえるほど、森じゅうに静かさがひろがる。

でも、この変な声を聞くと、おじいさんはとてもうれしい。なんだか自分も子供のころに、あんなふうにお母さんにあまえたのがあるって思うんだ。

すると、おじいさんのむねのうちに、なんともいえない、あまざっぱいものがふくらんで、つい、涙がポロリなんだ。

おじいさん、年をとったせいだろうかネ。

でも、大阪の子供たちに、キツネの赤ン坊の声、ぜひ聞かせてあげたいな。

(大分県自然観察連絡協議会)



イノシシのなきごえってどんなだらうねえ。

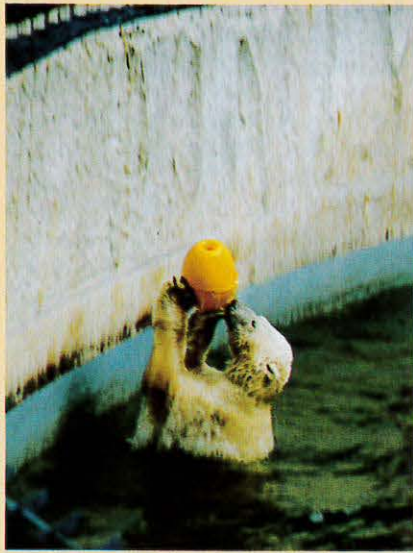


# 動物園グラフ

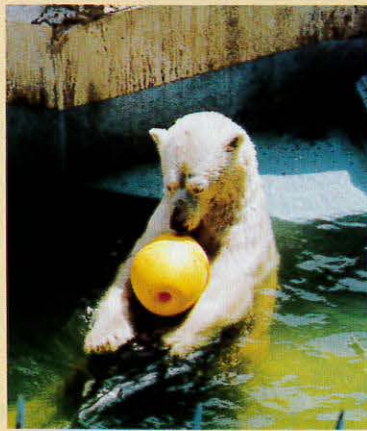
## “動物達の遊び道具”

動物を展示している放飼場や寝室の中には動物達をたいくつさせないため、備えつけの遊具、飼育係の手造りの遊具などがあります。今回はそれらのいくつかをご紹介します。

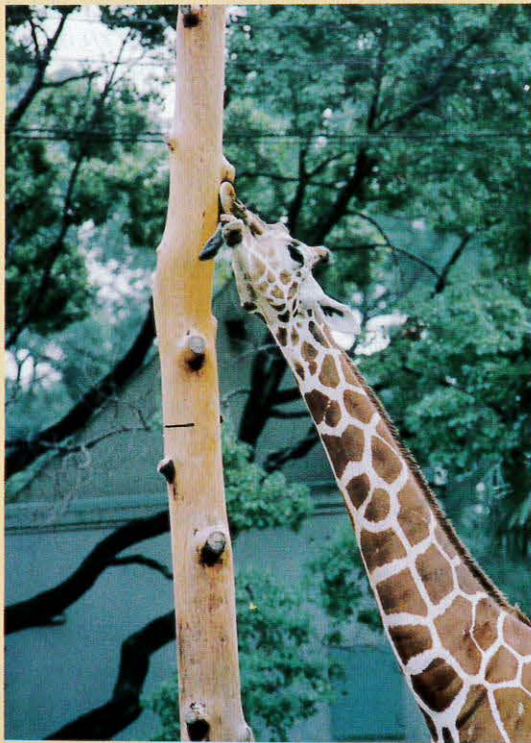
(構成：中川 哲男・撮影：土谷 正道)



漁網の浮玉を上手に使って、ハイツノシユート



抱えて潜ったり、浮いたりときもせず一日中楽しく遊びます。



飼育係が設置したヒマラヤ杉も一週間もたてば、このとおり、舐めたくってツルツルに!

### 8・9月の動物園日記

- 8 / 29. シロハラミズナギドリを1羽保護しました。
- 8 / 31. 福岡県の海の中道海浜公園動物の森の飼育係の方2名が来園見学されました。
- 9 / 1. クビワコガモが1羽ふ化しました。
- 9 / 3. ボアコンストリクターを1頭保護しました。
- 9 / 4. 7/9保護したセグロカモメと8/29保護したシロハラミズナギドリを自然復帰させました。
- 9 / 5. タヌキを1頭保護しました。
- 9 / 6. カワセミ1羽、ヒヨドリ1羽、キジバト2羽を保護しました。

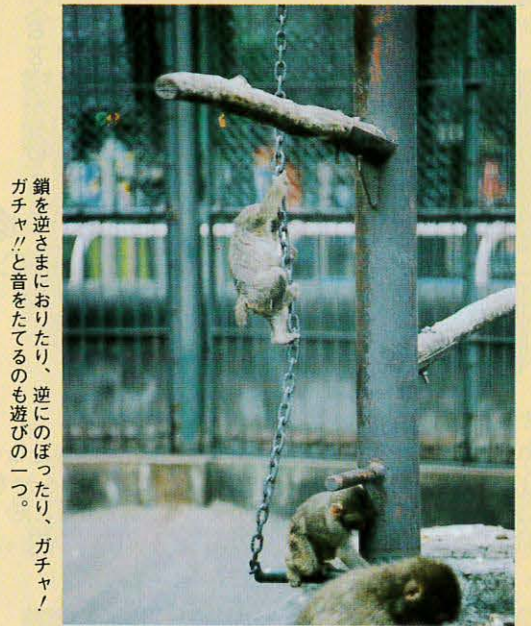
- 9 / 7. ゴイサギ、アオバズク、ツバメを各々1羽保護しました。
- 9 / 9. ダチョウとレアのヒナの体重測定をしました。
- 9 / 10. 4/12生まれ(1頭)と8/23生まれ(双仔)のトカラヤギに個体識別のための耳標を着けました。
- 9 / 11. アオバズク1羽とササゴイ1羽を保護しました。
- 9 / 12. 8/16と9/6に保護したカワセミと9/11保護したオアバズクを自然復帰させました。
- 9 / 13. ニホンキジを1羽保護しました。
- 9 / 15. インプレッサムツアシガメの脇が開かなく



鎖梯子での綱渡り、タイミングをとって「カンタン!」「カンタン!」



うくん、角がむずがゆい。暇な時は角ときに精を出して、今は休憩中。



鎖を逆さまにしたり、逆にのぼったり、ガチャ!!と音をたてるのも遊びの一つ。



人間が2~3人かかっても駄目なのに、ゾウさんの力では鼻先でヒョイッ!!

- なったので治療を開始しました。
- 千葉県市川市動植物園の獣医師1名が来園見学されました。
- 9 / 16. 第65回動物のお話とスライドの会「今年生まれた赤ちゃん」を開催しました。
- 9 / 18. キジバトのヒナを1羽保護しました。
- 9 / 19. 台風19号接近のため警戒体制に入りました。
- 9 / 20. 台風19号の影響で園内の樹木16本が倒れたため臨時休園し復旧作業を行いました。
- 9 / 21. タヌキを2頭保護しました。
- 9 / 23. 動物総合感謝祭が行われ、フンボルトペンギンのヒナとタヌキが動物代表として玉串を献じました。

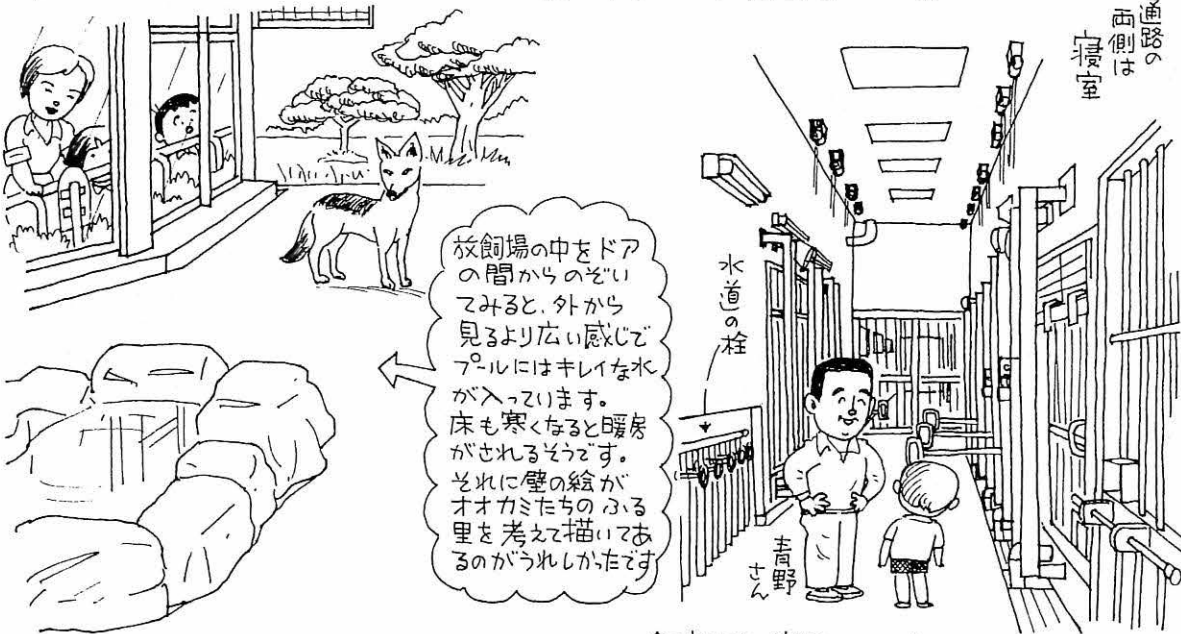
- 動物愛護週間に因み中之島公園で動物愛護フェスティバルが行われ、当園からもパネルや剝製を出展しました。
- 9 / 24. ゴイサギ1羽とアカエリヒレアシギ1羽を保護しました。
- 9 / 26. アカエリヒレアシギ1羽、キジバト2羽、センダイムシクイ1羽、アブラコウモリ1頭を保護しました。
- 9 / 27. 9/26保護したアブラコウモリを自然復帰させました。
- 東京都恩賜上野動物園の飼育係3名が来園見学されました。



# ケンちゃんの好きやねん動物園 まんが 松葉健



オオカミ舎が新しくなったのは、ことしの4月です。それまでの舎はコンクリートの壁と金網こうしてなんとも暗い感じがしていました。こんどのはガラス張りてハヤもなくまっとオオカミも日当たりがよくてよこんどいと思います。だけど、人間がそう思うだけで、オオカミはどう思っているのかわかりません。



放飼場の中をドアの間からのぞいてみると、外から見るより広い感じで、プールにはキレイな水が入っています。床も寒くなると暖房がされるそうです。それに壁の絵がオオカミたちのふる里を考えて描いてあるのがうれしかったです。

ハヤの数が多いため掃除もたいへんやるなと思った。だけど世話してくれる人を知っているのか

青野さんにはあまえてるように見えました。

建物のうら側は草が生えた広場になっていて、年老いたオオカミがのんびりしていました。こちら側の放飼場は保養所みたいところかな...と思いました。

飼育担当の青野さんが建物の中を案内してくれました。いまのところ寝室は区切った2ハヤを1頭が使っています。オオカミの食事は1日1回だけ、午後4時頃です。いまここには全部で10頭いました(オス4頭、メス6頭)。種類はセグロジャッカル、コヨーテ、4ユウゴクオオカミ、シマハイエナ、クオオカミ、などです。エサは肉食なので馬肉とか、鶏肉とか、牛骨とかを与えるそうです。

青野さんは『オオカミ舎のまはトラとかライオンの担当でネコや犬からイヌや犬ハゲだったけど、どちらも猛獣だから中へ入ってしっしょにおれない動物ばかりでね...』と笑っていました。オオカミ舎の1日は朝、通路の鍵を確かめる。重た物を寝室から放飼場へ出してやる。寝室の掃除。午後のエサをつくる。夕方エサを与えたあと放飼場の掃除。

## 動物園ニュース

§ 敬老の日に因み、ゾウの春子さんにリンゴのプレゼント

敬老の日の9月15日、当園で最長飼育動物であるアジアゾウの春子さんに、これからも元気で長生きしてくれることを願い、好物のリンゴ約100個(20kg)をプレゼントしました。



リンゴを鼻でもらう春子さん

春子は昭和25年に当園に来て今年で40年になり、年齢も41歳となりました。この催しは今年で2回目をむかえ、プレゼントの前に飼育担当者からゾウの飼育についての苦労話やゾウの生態についての説明がありました。リンゴは入園者が直接ゾウへ与えるのは危険なため、まず飼育担当者に手渡してプレゼントしました。

§ 台風19号による樹木倒壊で臨時休園

去る9月19日夜、台風19号が近畿を直撃しました。同夜は職員に動物体制が敷かれ、万全を期してきましたが、風雨は極めて強く、夜間にフサアカシア、シンジュなど10種22本の高木が横倒しになったり、傾いたり、幹が折れたりしました。そのため、翌20



台風19号の強風で折れたフサアカシアの木日は、倒れた樹木の撤去など復旧作業に努め、観覧通路や獣舎ほか施設の安全確保をはかるため、臨時休園としました。

§ 動物総合感謝祭開催

9月20日から26日までの動物愛護週間に因み、当園では、大阪動物愛護会主催の動物総合感謝祭が、23日秋分の日動物慰霊碑にて開催されました。出席者は、動物愛護功労者、愛護会々員、府市職

.....☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆.....

### 現在の飼育動物数

(平成2年9月30日現在)

哺乳類	13目	96種	406点
鳥類	20目	182種	757点
爬虫類	3目	33種	67点
合計	36目	311種	1230点

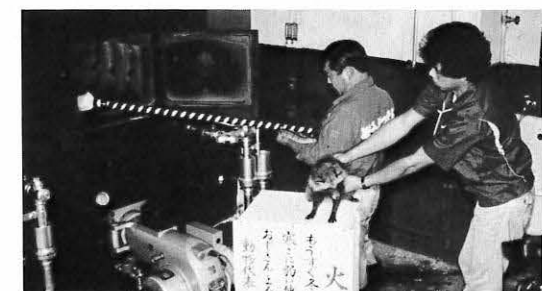
員や動物園職員で、まず神主による祝詞奉上ののち、出席者が次々と玉串奉奠を行い、最後に動物代表としてファンボルトペンギンとタヌキの子供が玉串を献じ、動物の霊をとむらいました。



動物代表で玉串奉奠をしたファンボルトペンギンとタヌキ

§ 暖房用ボイラーの火入れ式開催

当園では10月1日から動物舎の暖房を開始しましたが、衣替えの行われる10月1日の朝、動物の健康とボイラー操業の安全を願い、ボイラーの火入れ式を行いました。今回は、動物を代表して中南米産のヘビ(ボアコンストリクター)とタヌキが行いました。



この日から来年5月まで、寒さに弱い動物たち、ゴリラ、チンパンジー、オランウータン、カバ、爬虫類のために暖房を実施し暖かく冬が過ごせるようにするわけです。

● お知らせ

- 11月18日(日) コアラウォッチング
- 12月16日(日) 動物園裏側ウォッチング
- 時間：午後1時～2時
- 場所：コアラウォッチングはコアラ舎前。裏側ウォッチングはレクチャールームから出発

● テレフォンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。電話番号 771-9999

### \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光／監修  
B5変型判・オールカラー  
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、  
自然の中ではどんな暮らしをして  
いるのか？ 動物園での世話  
の仕方は？ 仲間とは？ など、  
写真と精密イラストをまじえ紹  
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>  
B5変型判・オールカラー・各定価580円

### むしくらしと かいかた

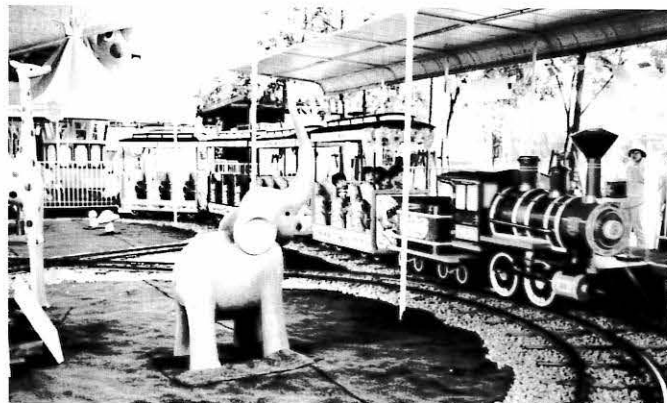
野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさないきものくらしと かいかた

昆虫以外の小さな生き物を320  
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社／〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

## たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL(06)541-3938(代)

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

オートフォーカスカメラに

# フジカラー SUPER HG 400



ピントが合いやすいフィルムです

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

# 歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死  
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る  
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入  
B6判・270頁  
3000円・〒不要

### 《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い  
求めになれません。  
直接当会へお申し込みく  
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作  
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

- 対象／保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間／10日間
- 貸出料／無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先／当協会まで手紙かハガキで  
お申込下さい。



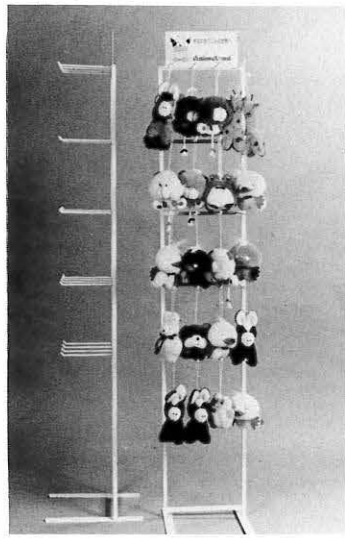
コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 定価800(50度用)

オールカラー  
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



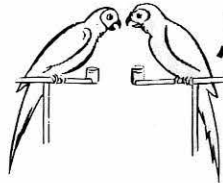


# 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

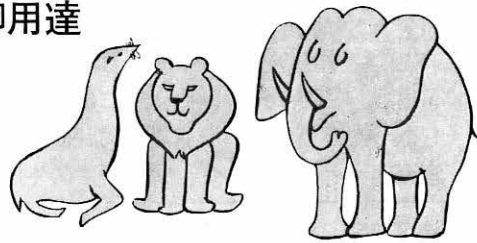
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

### たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

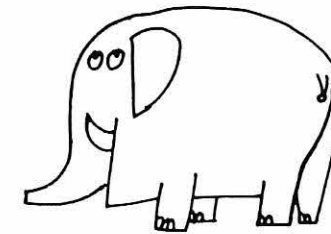
大阪市天王寺動物園内

## 中央売店

☎ (06) 771-0973



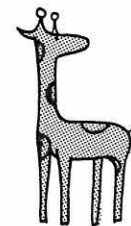
## 天王寺動物園内



## 南園売店

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

### 園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願い致し  
ます。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444





唯ちゃんも、  
とってもゼリーも、  
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー  
**とっともゼリー**



野生動物をみんなで守ろう

**WE SUPPORT WILDLIFE!**

天王寺動物園協会の売店に“WWF 国際保護動物ぬいぐるみコーナー”があります。  
このぬいぐるみにはパンダマークがついており売上げの一部はWWFJ（世界自然保護基金日本委員会）に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー



お申込み、お問い合わせは——  
社団法人 **大阪市天王寺動物園協会**  
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 **ファミリア商事部**  
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。  
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WIDE FUND FOR NATURE)とは？  
世界自然保護基金。世界中の危機に瀕している動物植物と、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1990年11月10日発行 (毎月10日発行) 第26巻 第11号 (通巻303号)

編集 / 大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74  
 発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎 電話 大阪 (06) 771-0201  
 印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共) 振替口座 大阪3-3 7823  
 編集委員 (伊東重朗 / 大西史朗 / 藤野勝吉 / 中山良三郎 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 奥上 昇 / 大谷直樹 / 宮下 実 / 長瀬健二郎)  
 (榊原安昭 / 森本委利 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 建 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 土谷正道)